

令和6年11月度 地域福祉活動連絡会 議事要旨

令和6年11月14日(木)

午前10時～11時45分

区役所5階 3・4会議室

司会・進行 山村保健福祉課長代理

1 あいさつ

西淀川区役所 保健福祉課長 篠原正徳

2 お話

(1) 「認知症ってなあに? ～かかわり方のヒント～」

講師: 西淀川区南西部地域包括支援センター

認知症地域支援推進員

岩江加奈子氏

内容: 認知症の概要説明

- ・認知症とは、脳や身体の病気によって、記憶力や判断力、計画力等が障害され、普段の社会生活に持続的な支障をきたしている状態
- ・発見のきっかけは、「もの忘れ」や「理解力・判断速度、集中力・作業能力の低下」、「精神的混乱や落ち込み」等による
- ・認知症は「アルツハイマー型認知症」、「脳血管性認知症」、「レビー小体型認知症」、「前頭側頭型認知症」に大別される。全体の68%を「アルツハイマー型認知症」が占める
- ・「定期的な運動」、「規則正しい食事」、ボランティア等の社会参加や趣味やいきがづくりによる「脳の活性化」が認知症予防につながる

(2) 「認知症による行方不明時の早期発見のために」

講師: 西淀川区南西部地域包括支援センター

陽だまり西淀川オレンジチーム

認知症地域支援推進員

久後みわ氏

三好由紀子氏

西淀川区地域包括支援センター

坂本太

西淀川区社会福祉協議会見守り相談室 大山千裕

内容: 地域の認知症の方への見守りと声かけについて

- ・認知症による行方不明者は増加傾向
- ・見守りメールについての周知
- ・行方不明者の概要

年齢: 70代～80代=88%

家族構成：独居及び夫婦二人暮らし＝４９％
時 間 帯：午前６時～午後５時＝８２％
場 所：自宅周辺（不明場所）＝９１％
市内他区（発見・保護場所）＝４１％

【グループワーク】

「声掛けの実演を観て良かった点、こうした方が良かった事」

- ・認知症の方が不安に思われるため、「警察（交番）」ということ避ける
- ・やわらかい雰囲気ですることが大事
- ・お互いに顔が見える場所で話しかけることが大事
- ・相手を驚かせないために天気等の世間話から会話を始める
- ・「杖を持っている＝歩きづらい？」→警察に来てもらう 等

「声を掛ける時に、困った事はありますか？」

- ・見た目だけでは認知症の判断が難しい
↳ベンチに座っている人等
- ・（困ったことではないが）「過去に子育て等でお世話になった人への恩返しで「一緒に行こか」と声かけしている。連絡先の交換もしている」

3 その他

- ・見守り相談室の周知
- ・認知症サポーター養成講座の周知 等

※次回「地域福祉活動連絡会」の予定

日 時：令和7年1月9日（木）午前10時～

場 所：西淀川区役所 5階 会議室

内 容：未定



令和6年11月度
地域福祉活動連絡会